

### Ⅲ 葉草展関係

#### ① 葉草講演会

日時：3月3日（火）10時～12時 会場：2F第2会議室（一般の人も多数参加、満員状態）

講師：南漢方薬局店主 南 壽氏

演題：「葉草について」パソコンから映像にしてのお話で、具体的。もっとお聞きしたいくらいだった。

- 1 士清旧宅で（谷川家処方書）コオヒイを豆を黒く煎ったものと勘違い。神保安榮湯は産後葉の良薬。
- 2 津市内の葉草について（採集すれば、現在でも200種以上ある）4/29（祝）美杉町で葉草観察会
- 3 食卓の野菜・果物・穀類の生薬名と薬効例 玄米＝粳米、こむぎ＝小麦、くず＝葛根、なつめ＝大棗  
ねぎ＝葱白、しょうが＝生姜、みかん＝陳皮、柿＝柿蒂はしゃっくり止めの妙薬、柳の樹皮＝鎮痛剤…など
- 4 7つの葉草と7つの生薬の薬効について〔生姜・大棗・甘草・桜皮・柳皮・芍薬の根・麻黄〕  
①甘草湯（激しい咳・咽喉痛の緩解）②芍薬甘草湯（急激に起こる痙攣の予防）③桂枝湯（体力が衰えた時の風邪薬）④桂枝加芍薬湯（胃腸の弱い人や虚弱体質の風邪の初期）⑤桂枝加芍薬湯＋麻黄＝葛根湯（体力があって、自然発汗が無いものの風邪に）⑥桜の樹皮＝咳止め ⑦ 柳の樹皮＝アスピリン原料、鎮痛剤
- 5 注意すべき葉草・薬の見間違い飲み間違いは危険 お薬手帳を活用すること一薬剤師が副作用など指導。

#### ② 葉草茶呈茶（3F展示会場試飲コーナーで）会場係が主に呈茶係を兼ねた。

日時：3月3日（火）午後を中心に展示期間中も一部実施。会員が予め各家庭で煎じてきたものを持参。

（ゲンノショウコ）（カワラケツメイ茶）（スギナ茶）（ハブ茶と杜仲茶）（ドクダミ茶）

#### ③ 葉草展示 展示：3月3日（火）～8日（日） 会場：リージョンプラザ3F展示室右奥

主な展示物：葉草パネル・押し花額・葉草写真・生薬名入り袋・葉草関係書籍・漢方の道具など  
鉢植え（ウラジロガシ・ツワブキ・テンダイウヤク・ハラン・ビワ・ヤブラン・蔞・イチイなど）

パネル（1葉草採取の方法 2採取葉草の処理 3葉草の煎じ方）「身近な葉草」19種17枚

（ドクダミ・ゲンノショウコ・オオバコ・センブリ・アマチャヅル・カキドウシ・イカリソウ・トウモロコシ・サフラン・  
ヨモギ・ユキノシタ・クコ・クズ・キササゲ・クチナシ・ナンテン・アケビ・ザクロ・ジャクヤク）

生薬と道具（ケース内）棹秤・台秤・上皿天秤・毒薬天秤・薬研・金臼・茶匙6・瓶入り生薬見本6本  
士清と本草学・本草学とは（説明）・襖・版木（生薬名・処方書き）、その他薬方全書などの古文書も。  
圧巻は、武野薬局秘蔵の生薬の版木や生薬を入れて天井からぶら下げた袋や、生薬名を張り付けた襖。

（鉢植えは三重県薬剤師会の倉本敬正氏、生薬や道具類は武野薬局、パネルは三重県薬剤師会ご提供）

### Ⅳ 記念茶会は旧宅で 3月6日（金）雨・7日（土）晴（馬場幸子社中と士清の会会員による）



士清が津藩主7代高朗より拝領したという茶室「狸庵」を  
偲び、初めて旧宅で記念茶会を開きました。寄付招待客  
58名を含んだ151名のお客様を馬場社中の点前で、会員9名  
と社中5名総勢14名が心からおもてなしをしました。お客様  
の反応は「しつとりとよかった」とのこと。

### Ⅴ 士清検定 50問準備（1～20小学生向き21～50中学校以上一般まで）2F健康教室で実施しましたが…

受検者の最高点は47点。今後の活用が大いに期待されます。（作成は竹内令さんと係の会員）

### 親睦研修旅行の印象

6月8日（日）快晴 36人参加（含伊勢平氏研究会会員・知人）

例年6月第1日曜開催の「あじさい祭」が行われていて、  
賑わっている旧勢和村丹生（現多気町）へ。勢和の語り部会  
長吉田氏と川口会員の案内で、まずは①丹生大師を見学。七  
堂伽藍があり、弘法大師自作の大師像も安置されている。屋  
根付きの回廊は修復中だったが、石段を上って拝観。丹生神  
社ではなぎの葉のお守りもいただいた。②次に、立梅用水と  
水銀坑跡へ。途中ずっと紫陽花が植えられている小径を辿り  
ながら、「立梅用水」全長30kmの用水開削工事により、開田面  
積160町歩に達したことや、その功労者西村彦左衛門氏の苦勞

